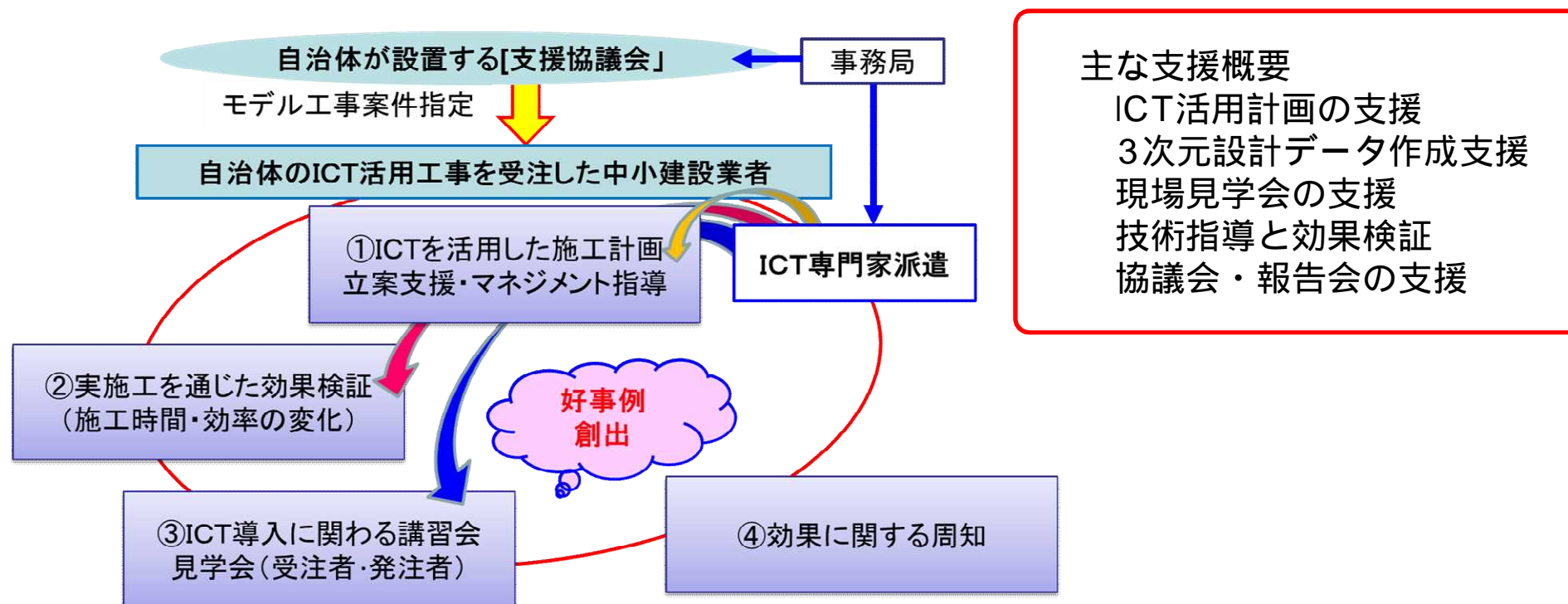


現場支援型モデル事業 概要

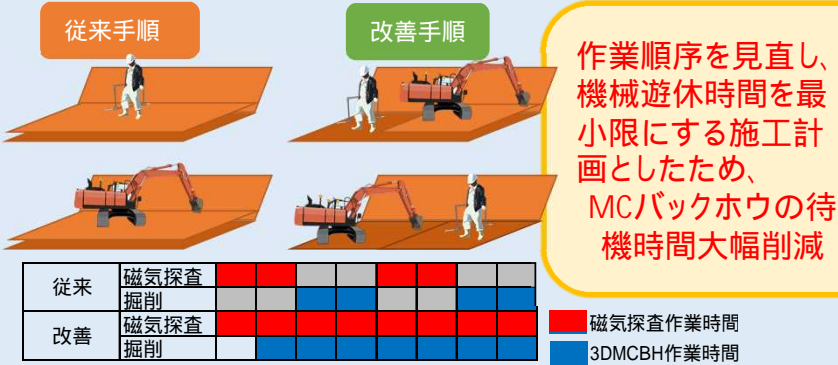
- ICT活用工事を建設事業の大半を占める地方自治体工事に広めるため、自治体発注工事(モデル工事)をフィールドに、現場支援型モデル事業を実施
- モデル工事にICT施工専門家を派遣し、ICT活用を前提とした工程計画立案の支援や、ICT建機の運用指導を行い、ICT導入の効果を創出させる。
- ICT活用効果を好事例として周知し、ICT導入の動機づけとする。
- 今年度もモデル工事を選出して実施



- ・道路改良工事
- ・不発弾の磁気探査が必要であり、掘削深さを抑えた繰り返し施工を実施
- ・ICTバックホウ導入による施工工程の見直しで**施工効率が向上**
- ・土砂運搬計画を見直し、**ICTバックホウを最大限に活用することで搬出量を増量**

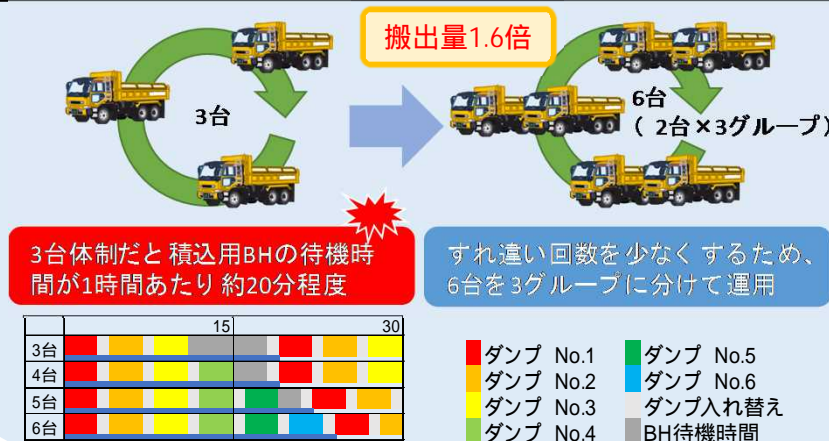
施工方法のカイゼン

丁張不要のICT建設機械を有効に活用することで作業時間縮減



施工方法のカイゼン

ICT建設機械施工に合わせて土砂運搬計画を見直すことで搬出土量増加



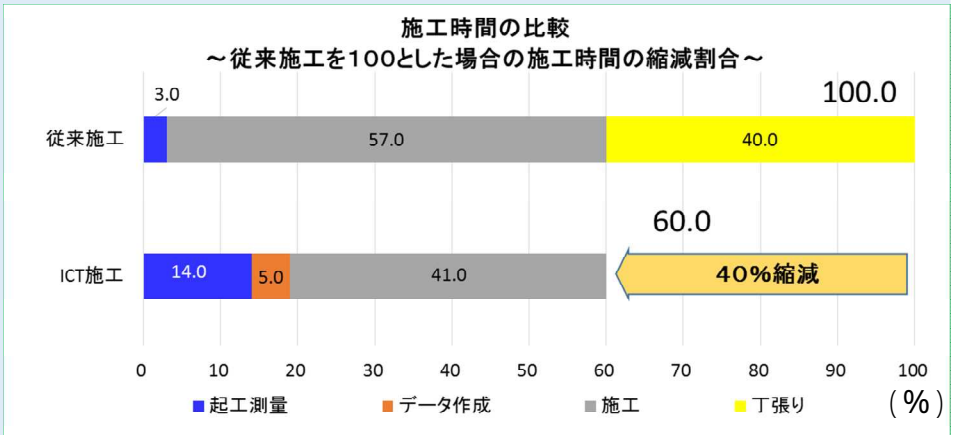
施工時間縮減効果

【施工時間縮減算出条件】

- ・施工日数:効果検証時の施工数量より算出
- ・掘削・路体盛土を対象に試算しており出来形計測は含んでいない
- ・従来施工は支援業者による試算であり実際の施工時間と異なる場合があります

施工時間削減理由

- ・丁張レスによる作業時間の大幅削減
- ・施工方法のカイゼンによる施工能力の拡大

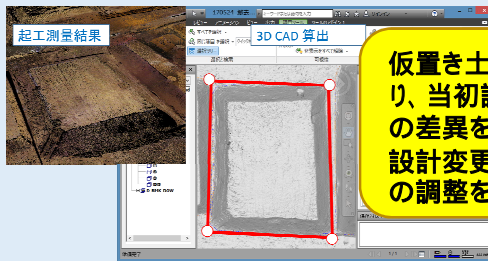


施工時間40%削減

- ・宅地造成盛土工事
- ・精度確保のため小規模ロットでの施工を予定していたが、ICT導入により、大規模ロットで丁張りレス施工することで**施工時間の大幅縮減を実現**

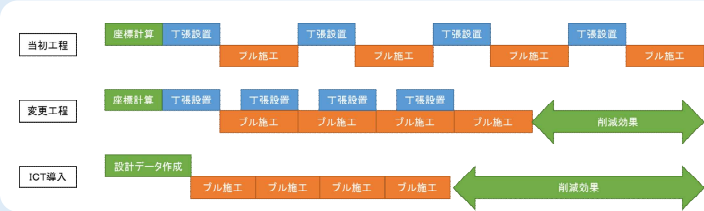
施工方法のカイゼン

ICTを利用した数量算出を行い設計変更



仮置き土量は、3D求積により、当初設計と比べ約1割の差異を確認。設計変更および搬入土量の調整を行った。

工程の変更およびICT導入による工期短縮



稼働60日予定が着手1カ月で完了

当初工程では精度確保の為、小規模ロットでの施工計画。変更工程では広いエリアを確保し、ICTで精度を向上。広域施工が可能となり、多くの重機を同時稼働できた。

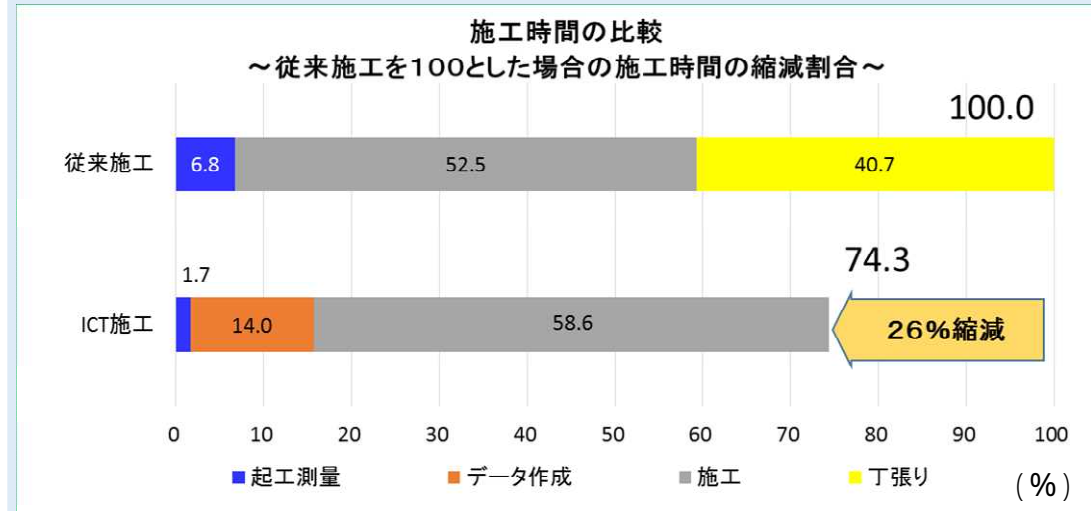
施工時間縮減効果

【施工時間縮減算出条件】

- ・施工日数：効果検証時の施工数量より算出
- ・掘削・路体盛土を対象に試算しており出来形計測は含んでいない
- ・従来施工は支援業者による試算であり実際の施工時間と異なる場合があります

施工時間削減理由

▶丁張レスによる作業時間の大幅削減



施工時間26%削減